



Newsletter No. 37

Maxillofacial Prosthetics

発行人 松山美和

編集 広報委員会

事務局 T135-0033 東京都江東区深川2-4-11 一ツ橋印刷(株) 学会事務センター内

Tel: 03-5620-1953 Fax: 03-5620-1960

E-mail: max-service@onebridge.co.jp

委員会トピックス

認定医制度委員会

令和4年6月より、古賀千尋前委員長から認定医制度委員会委員長を引き継ぎました楳原絵理です。

本学会では、顎顔面補綴の専門的知識および臨床技能を有する者を養成することにより、医療水準の向上を図り国民の保健福祉の増進に寄与することを目的として、平成19年度からは認定医制度、平成22年度からは認定士制度が施行されました。本学会は歯科医師だけでなく、顎顔面補綴治療に携わるすべての医療従事者の方に会員資格があります。認定医は歯科医師を対象としております。認定士には認定言語聴覚士、認定歯科技工士、認定歯科衛生士の3つがあり、本委員会も各職種の方々に委員となっていただき、それぞれの立場からご意見をいただき、運営をしております。

認定医・認定士の申請は毎年3月末日を締め切りとして隨時受け付けております。認定医は申請後、その年の学術大会にて**3年以上経過観察**を行なった顎顔面補綴に関する2症例をケースプレゼンテーションとして発表し、認定審議会の審査を受けていただきます。その後、1年内にそのうちの1症例以上を論文投稿していただき、

論文が受理された後に認定となります。一方、認定士は申請後、その年の学術大会にて**3年以上経過観察**を行なった顎顔面補綴に関する2症例をケースプレゼンテーションとして発表し、認定審議会の審査後、認定となります(図1)。

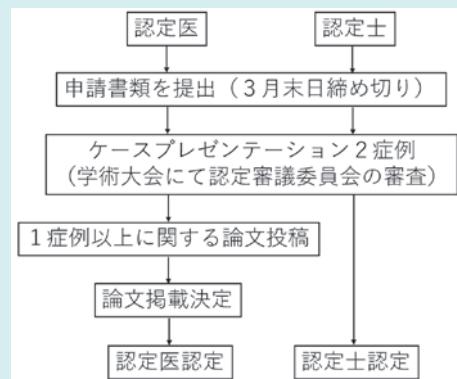


図1 認定医、認定士申請の流れ

ただし、認定士において3年以上経過観察することが難しく、申請を踏みとどまっているというご意見も頂戴しておりますので、より実情に合わせ申請しやすいように、**経過観察期間や提示資料について**は別途条件を設けております。詳しくは本学会ホームページ上の【認定医・認定士ケースプレゼンテーションの注意点について】をご覧ください。

会員の皆様からの認定医・認定士の申請、心よりお待ちしております。

(認定医制度委員会委員長 楠原絵理)

第50回日本顎顔面インプラント学会 教育研修会のご案内

この度、日本顎顔面インプラント学会教育研修委員会より、教育研修会のご案内を頂きました。同学会員以外の方も参加が可能です。

テーマ：

「顎骨再建と広範囲顎骨支持型補綴装置および補綴治療の現状を学ぶ」

日本顎顔面インプラント学会編集「顎骨再建とインプラントによる治療指針—広範囲顎骨支持型装置治療マニュアル」に準拠した内容となります。

会期：2023年8月27日（日）9:00～16:00

形式：Web開催+オンデマンド

（8月28日（月）から2週間配信予定）

対象：歯科医師、医師、歯科衛生士、歯科技工士など

参加費：12,000円

（歯科医師・医師以外の学生、留学生は無料）

申込：日本顎顔面インプラント学会HP参照



講演1 高橋 哲先生（南東北福島病院）

「広範囲顎骨支持型装置治療の診査診断・治療計画および唇顎口蓋裂への広範囲顎骨支持型装置治療（仮）」

講演2 小山重人先生（東北大学）

「広範囲顎骨支持型装置・補綴治療と診療ガイドライン設定に向けた機能評価（仮）」

講演3 石田勝大先生（東京慈恵医科大学）

「顎骨再建外科治療について～広範囲顎骨支持型装置治療を考慮して（仮）」

講演4 上田倫弘先生（北海道がんセンター）

「顎口腔腫瘍・口腔癌の切除と再建～広範囲顎骨支持型装置治療を考慮して（仮）」

講演5 奥井達雄先生（島根大学）

「顎顔面外傷・骨髓炎／薬剤関連顎骨壊死等への広範囲顎骨支持型装置治療（仮）」

講演6 丸川恵理子先生（東京医科歯科大学）

「広範囲顎骨支持型装置治療への歯槽骨再生治療とインプラント体周囲管理（仮）」

講演7 助川信太郎先生（香川大学）

「広範囲顎骨支持型装置のメンテナンスおよび現在のエビデンス・AIの応用など（仮）」

海外留学報告：UCSF



秦 正樹

愛知学院大学歯学部

有床義歯学講座

2023年3月より1年の予定でアメリカ・カリフォルニア州の University of California San Francisco に留学しております。この留学は、2016年に本学会の若手研究者海外短期研修に参加した際、Sharma 教授より Labo をご紹介いただいたことがきっかけとなりました。当時は明確に留学を考えていたというよりは、海外の Labo を実際に見てみたいという興味が強かったです。2日目に現在お世話になっている Klein Labo へお伺いし、PI の Ophir Klein 教授とお会いしました。気さくな感じでやさしく、日本に行ったこともあり、愛知学院大学に知り合いの先生がいると聞いた時は驚きました。ポストドクの先生からは具体的な研究の話を聞くことができ、自分が興味を持っている内容であったため、いつかこの Labo で研究したいと思うようになりました。

Klein Labo は、“Craniofacial Development and Renewal”, “Gastrointestinal Regeneration”



“Progenitors in the Oral Mucosa”が研究の軸となっています。私はCraniofacial small groupに入り、パートナーの方に実験を教えていただきながら進めています。また新しい知見が得られたらご報告させていただきます。

COVID-19のため時間を要しましたが、留学までの準備の中でやってよかったことを2つご紹介します。留学をお考えの先生方のご参考になりましたら幸いです。

1つ目は英語学習です。これまで海外生活やホームステイの経験はなく、英語に触れる機会は主に論文の読み書きに限られていました。短期集中講座+英会話(in person & on line)が効果的でした。前者で自分の弱点を分析し、アプローチ方法を見つけました(主にシャドーイング30分/日)。後者では色々な国の人々の英語を聞いて耳を鍛えました(2回/週)。

2つ目はLaboの論文をできる限り読んでおくことです。Laboの方々のbackgroundを少しでも知っておくと、コミュニケーションの際にプラスにつながっていると感じています。

最後になりましたが、貴重な機会を与えていた

だいたい武部教授、
快く送り出して
下さった医局の先生方、この留学の
きっかけをサポートしていただいた
隅田先生、原口先生に深く感謝いた
します。



関連学会報告

第24回日本口腔顎顔面技工学会学術大会

2022年12月3日(土)に第24回日本口腔顎顔面技工学会学術大会が鳥取大学病院を主幹校にZOOMを使用したオンラインで開催されました。

特別講演は2題で、鳥取大学医学部医学科 医学教育学講座の植木賢先生による「AIやデジタル

活用による医療の発展を目指して」と題し、鳥取大学医学部附属病院の医工連携の取り組みとその成果を紹介されました。講演の際の「発明とイノベーションは違う、発明の女神は準備されたところに舞い降りる」の言葉は印象深く、日々物事広くにアンテナを張っていなければならぬと感じました。

もう1題は鳥取大学医学部 感覚運動学講座の土井理恵子先生による「口唇口蓋裂における治療の流れ」と題して胎児の口唇口蓋裂の発生のメカニズムと出生後の治療方法とその流れを分かり易く解説され、生後間もなく装着するPNAM(presurgical nasoalveolar molding)装置を作成する歯科技工士や他の医療スタッフとの連携がいかに大切かを説かれていました。

関三千男先生による宿題講演は「医療技術の進歩とタスクシフトの課題」と題し、医師の働き方改革の中で医師の負担軽減のため他の医療スタッフへの業務の拡大が図られる中、歯科技工士がどの様にすれば職域を拡大できるか今後の課題を挙げられました。講演終了後の質疑応答では病院勤務や歯科技工士養成校の方など、それぞれの立場、視点からの質問や意見が出され活発な議論が行われました。

一般口演は4題と少なめでしたが、中でも粘弾性常温重合レジンを使用して口唇エピテーゼを作成し顎義歯と接合した症例発表は暫間的なエピテーゼの製作方法として興味深い内容でした。

今回の大会はオンラインのためか参加人数は66名と少なく、開始時間も13時からと遅くに始まりましたが、大会終了後は参加者各自が飲食物を用意しWEBによる懇親会が2時間ほど設けられました。また後日参加者には大会長から鳥取の老舗の最中と紅茶が送られてきました。

次回は2023年11月25(土)・26(日)日に東京両国KFCアネックスホールで開催される予定です。



関連学会のご案内

●第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
会期：2023年9月2日（土）～3日（日）
大会長：芳賀信彦
(東京大学大学院医学系研究科 リハ
ビリテーション医学分野 前教授)
会場：パシフィコ横浜ノース
問合せ：株式会社メディプロデュース
TEL：03-6456-4018
E-mail：29jsdr@mediproduce.com



●第33回日本口腔内科学会・
第36回日本口腔診断学会・
第43回日本歯科薬物療法学会・
第32回日本口腔感染症学会 4学会合同学術大会
会期：2023年9月22日（金）～24日（日）
大会長：岩渕博史
(国際医療福祉大学病院)
野村武史
(東京歯科大学)
会場：栃木県総合文化センター
問合せ：(一財) 口腔保健協会コンベンション
事業部内
TEL：03-3947-8761
FAX：03-3947-8873
E-mail：yongakkai2023@kokuhoken.jp



●第37回日本口腔リハビリテーション学会学術大会
会期：2023年10月21日（土）～22日（日）
大会長：岸本裕充
(兵庫医科大学医学部歯科口腔外科学
講座)
会場：兵庫県歯科医師会館
問合せ：兵庫医科大学医学部歯科口腔外科学講
座内
TEL：0798-45-6677

Fax：0798-45-6679

E-mail：37jaor@gmail.com

●70th Annual AAMP (American Academy of
Maxillofacial Prosthetics)
会期：2023年10月21日（土）～24日（火）
Program Chair：William Wilson, Jr.
会場：Omni Hotel, San Diego, CA, USA.



●第27回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会
会期：2023年12月2日（土）～3日（日）
大会長：矢郷 香
(国際医療福祉大学三田病院)
会場：国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス
問合せ：運営事務局補佐室（株）学術社内
TEL：03-5924-1233
FAX：03-5924-4388
E-mail：jamfi27@gakujyutsusha.co.jp



コンテンツ

委員会トピックス	1
海外留学報告：UCSF	2
関連学会報告	3
関連学会のご案内	4

皆様のご意見をお寄せください。

一般社団法人日本顎顔面補綴学会 広報委員会
委員長 中島純子
委員 猪原 健, 大木明子, 関谷秀樹,
勅使河原大輔, 宮本哲郎, 吉岡 文
E-mail：max-service@onebridge.co.jp